

【茨城県】公益社団法人茨城県農林振興公社

＜宮農類型＞
耕種作物全般

＜このような方を求めています＞

- ・農業が好きでやる気のある方
- ・明るくコミュニケーションがとれる方
- ・自分から仕事を見つけていく方
- ・健康で体力のある方

＜就農支援の体制＞

茨城県、農業会議、
普及センター、ふる
さと回帰支援セン
ター など

連携

茨城県
農林振興公社



＜就農希望者への支援＞

支援項目	支援段階	具体的な支援内容
P R 活動	—	・ポータルサイト「茨城就農コンシェル」を開設し各種情報を発信。認定NPO法人ふるさと回帰支援センターと連携して移住相談の対応、県外からの就農希望者への情報提供。 ・県内5ブロック（県北、県央、鹿行、県南、県西）に分け農場見学及び就農相談会を実施。コロナ禍でのオンライン就農相談を開催（令和2年4月～）。
研修内容	—	・就農準備校など学校での体験研修（1週間から6ヶ月の農業体験研修講座などを開設） ・農業インターンシップ（農業法人等での2日から6週間までの就農体験を実施） ・農家・農業法人での体験研修 など
支援	就農前 就農後	毎年「目指せ！ニューファーマーの集い」を開催。就農予定者がスムーズに就農するため、就農する地域の先輩との人脈づくりを支援。
地域との交流 機会の提供	—	「いばらき新規就農者ネットワーク（非農家出身の農家が集まって結成された農業者グループ）」を活用し会員同士の交流や情報交換を実施。就農を目指す方への助言や会員の加入促進。
販路	—	「どこに住むので、何を作るか」「何を作るので、どこに住むのか」の二つの視点で助言。既に出来上がっている地域の販路や土地条件、知名度など有効に使うことを推奨。
定着による地 域への波及効 果	—	・就農につなげることを目的に開催している農場見学会を通じて、イチゴの就農を目指して長期研修に入った方や就農準備として「いばらき農業アカデミー」に受講を申し込んだ方が出てくる など ・常陸大宮市ではイチゴを栽培する新規就農者の増加や担い手の若返り。
定着数・率、 離農等	—	新規就農したが定着できなかった2つの事例 ・理想にこだわりすぎる。良い物は相応の値段で売れると過信し有機農業を始めたが、値段が高すぎて結局売れずに立ち行かなくなり離農。 ・ポリシーにこだわりすぎる。雇用費をできるだけ削減して生産したことで、出荷すべき時期に生産ができず出荷できなくなり撤退。（作物には「生産・出荷する時期」「相場」があるのでそれぞれに応じた作業と柔軟な販売が必要。）
情勢変化への 対応	—	・コロナ禍での就農相談や、「マイナビ就農フェスト」への出展等についてはオンラインで実施。 ・市町村と連携し「茨城就農コンシェル」ポータルサイトからの充実した情報の受発信。 ・県内の農業経営士と連携し県域の研修機関として取り組む予定。いばらき農業アカデミーの講座と組み合わせ就農希望者をサポート、就農のコーディネートを図る方向。

☆就農定着のポイント！

- ・経営が成り立つ「経営モデル」を提示
- ・独立に向けて経営感覚が養えるよう、自主性を尊重

【問合せ先】

公益社団法人茨城県農林振興公社

Tel :029-350-8686

Fax:029-239-7097

URL:<https://www.ibanourin.or.jp/concier/>

＜就農した先輩からのひとこと＞

- ・農業は地味な仕事と思われがち。実際は自分の才能を存分に発揮できる職業。（アスパラガス生産者）
- ・農業はやり方次第で儲かる産業で魅力的。農業界に飛び込んでみませんか。（K農園塾）
- ・女性だけで運営する農場を経営。悩んでいる方、まずは体験してみること。一歩前に足を踏み出すこと。（M農園）